

2022 年度事業報告

公益財団法人滋賀県国際協会

I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開している。2021 年度からは新たな第3期中期計画に基づき、「国際感覚に優れたひとづくり」「多文化共生の地域づくり」「ボランティア、市民活動団体の活動促進」「情報収集・提供による環境づくり」「協会の基盤整備」の5本を柱として事業を実施している。

2022 年度は新たに次世代人材育成事業を立ち上げ、若者を対象に自らと世界とのつながりについて足元から学ぶ連続セミナーを開催した。ミシガン州友好親善使節団派遣は中止となったが、国際教育の研修や進路ガイダンス、防災研修などは新型コロナウイルス対策を講じつつ、対面で実施した。

また、感染症関連をはじめとする多言語での情報発信や相談対応に努めた他、ウクライナ避難民の滋賀での生活のサポートを行う等、外国人県民等が地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに取り組んだ。

国際交流・協力事業では、ニカラグアやミシガン州とオンラインでつないだことで、新たな「環境・国際交流」という取組の橋渡しとなったり、使節団派遣・受入の中止が続く姉妹都市交流再開への足掛かりとなった。

加えて、2021 年度に策定した BCP(事業継続計画)を確認するため所内訓練を行った。

II 事業実績

[自主] : 自主事業、[助成] : 助成事業、[補助] : 補助事業、[委託] : 委託事業

《 国際感覚に優れたひとづくり 》

1 国際教育啓発事業

(1) 国際教育・開発教育の普及（オリジナル開発教材の普及） [自主]

① オリジナル開発教材の普及

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行った。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ○「ブラジルボックス」 | 貸出件数：10件 |
| ○「非識字体験ゲーム」ここは、何色？ | 貸出件数：1件
販売件数：8セット |
| ○「言葉がわからない」体験ゲーム震災編 | 貸出件数：5件
販売数：9セット |
| ○「わたしん家の食事からカードゲーム版」 | 貸出件数：3件
販売件数：9セット |

② オリジナル開発教材普及促進のための講師派遣

オリジナル開発教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、持続可能な社会づくりに向けて実際に行動できる人材の育成に努めた。

派遣数：4件

③ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2022 の開催 (共催：JICA 関西)

開催日：8月10日(水)

会場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：52人

内容：

全体会議「ワークショップ&ファシリテーション入門ー学びあいの場をデザインするための技法ー」

分科会1「世界がもし100人の村だったらーあれから20年、そして未来へ」

分科会2「言葉がわからない体験ゲーム何が起こった?(震災編)」

分科会3「服・ファッションから考えようー持続可能な未来にするためにー」

分科会4「今を知り、共に考えようー多文化共生×SDGsー」

④ 国際教育教材の貸出

所蔵数：708冊/点

貸出件数：15件、貸出点数 延べ106点(オリジナル教材を除く)

(2) 国際教育の研究 [自主]

国際教育研究会「Glocal net Shiga」による研究

研究会開催回数：12回、参加者：延べ145人 ※対面・オンライン参加含む

(4/17：12人、5/22：16人、6/12：11人、7/9：19人、8/10：12人、

9/10：10人、10/23：16人、12/17：15人、1/7：8人、1/14：8人、

2/26：10人、3/12：8人) (開催日：参加者)

(3) 国際教育の担い手の育成 [助成] [自主]

新① 次世代人材育成事業『多文化共生 × SDGs × 開発教育』

若者を対象に座学(ワークショップでの疑似体験や講義)と直接触れる体験(フィールドワークやオンライン交流など)を組み合わせた連続セミナーを実施。海外と繋がりのある人材と共に参加するプログラムを開催した。

【開催回数：連続セミナー5回および発表会】

第1回 7/17(日) 「参加者同士の新たな出会い」

第2回 8/4(木) 「ブラジル人学校の生徒との出会い」

第3回 9/10(土) 「紛争問題を抱える国・地域出身者との出会い」

講師：中尾 秀一さん((公財)アジア福祉教育財団
難民事業本部関西支部支部長代行)

第4回 10/15(土) 「日本に根付く韓国朝鮮の歴史と今との出会い」

第5回 11/13(日) 「ムスリム(イスラム教徒)との出会い」

発表会 12/17(土) 多文化共生講演会および受講生による発表会

講師：土井 佳彦さん((特活)多文化共生リソース
センター東海代表理事)

受講者数：20人(うち、19人修了) サポーター：8人 計28人

ルーツのある国：日本、ブラジル、中国、カナダ、マレーシア

② ファシリテーター養成講座の開催（共催：JICA 関西）

国際教育ワークショップ 地球市民を地域とともに育てよう Part 21

テーマ：「平和って、なんだろう？ ねこのポーポキと一緒にかんがえよう」

講師：ロニー アレキサンダーさん

（神戸大学大学名誉教授、ポーポキ・ピース・プロジェクト代表）

開催日：1月7日（土）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：16人

③ 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：61件

イ. 講師派遣数：18件（オリジナル開発教材講師派遣数含む）

ウ. 講師（国際協会職員）派遣、訪問研修受入

・ 4/23	かんちゃんホットルーム	参加者	38人
・ 5/16	大津商業高校 第3学年「課題研究」 グローバル・ビジネス講座	参加者	26人
・ 6/7	全国市町村国際文化研修所(JIAM) 「自治体外国人施策の実務～第一線で 対応する方のために～」研修	受講者	27人
・ 6/20	大津商業高校 第3学年「課題研究」 グローバル・ビジネス講座中間報告会	参加者	26人
・ 6/27	近江八幡市立八幡西中学校 第1学年 人権学習	参加者	200人
・ 7/14	比叡山中学校 第2学年 人権学習	参加者	79人
・ 7/15	大津商業高校 第2学年 人権学習	参加者	240人
・ 8/5	大津子どもひまわりの家	参加者	30人
・ 11/16	甲賀市立柏木小学校 第4学年	参加者	49人
・ 11/17	大津市立仰木中学校 第3学年	参加者	180人
・ 11/21	大津商業高校 第3学年「課題研究」 グローバル・ビジネス講座最終報告会	参加者	26人
・ 11/29	大津市立日吉中学校 第2学年	参加者	250人
・ 12/9	甲賀市立貴生川小学校 第4学年	参加者	76人
・ 12/21	能登川高校 第3学年	参加者	146人
・ 1/24	滋賀県立守山中学校 第3学年	参加者	80人
・ 1/31	大津商業高校 課題研究発表会	参加者	772人
・ 2/2・3	大津商業高校 第1学年 ビジネス基礎フィールドワーク	来所者	8人
・ 2/5	比叡山高校 第1学年 人権学習	参加者	503人
・ 3/16	草津市立老上小学校 第4学年	参加者	126人
・ 3/20	東大津高校 第1学年 人権学習	参加者	360人

エ. 国際教育協働推進事業報告書発行 3月

オ. 委員・アドバイス等

- 令和4年度 滋賀県立大津商業高等学校 高等学校産業人材育成プロジェクト事業コーディネート委員 会議出席 5/23、1/31
- 認定NPO 法人開発教育協会 関西ブロック運営委員会委員
 - ・ 11/3「地域で広げ・つなげる開発教育 実践者に聞くりレポート 第6回」登壇
 - ・ 機関誌「開発教育 69号」(12月発行)40周年特集号原稿執筆

④ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県人権教育課および滋賀県総合教育センターより依頼を受け、教員対象研修を担当した。

- 滋賀県人権教育課 [人権教育基礎講座] ※教職2年次全教員対象

近江八幡会場

開催日：6月23日(木)

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが(近江八幡市)

受講者：130人

大津会場

開催日：6月28日(火)

会場：滋賀県庁(大津市)

受講者：90人

- 滋賀県総合教育センター [自己啓発研修(選択研修)「国際理解」]

開催日：8月10日(水) ※全教員対象 [再掲]

会場：ピアザ淡海(大津市)

受講者：27人(国際教育教材体験フェア参加者)

2 国際交流推進事業

(1) 国際交流・協カライブチャンネルの開催 [自主]

県姉妹友好州省駐在員や JICA 関係者等と当協会をオンラインでつなぎ、交流や情報交換をライブ配信で行い、海外に行くことなく身近に国際交流を体験できる機会を提供し、国際交流・協カの裾野を広げた。

実施方法：オンライン Zoom

[第3回：ニカラグア編]

テーマ：「『うみのこ』が海外でお手本に！ニカラグアってどんな国？」

開催日：10月1日(土)

中継先：JICA ニカラグア事務所

参加者：37人

[第4回：ミシガン(アメリカ)編]

テーマ：「一足早くミシガンから Merry Christmas!」

開催日：12月18日(日)

中継先：ミシガン州姉妹県州委員会メンバー宅

参加者：33人

(2) ミシガン州立大学連合日本センター (JCMU) の管理運営 [委託]

① 施設の維持管理

施設利用者の安全確保や施設の長寿命化のため、必要に応じて外部に業務を委託し、各種法令に基づく定期点検や調査を実施するなど、施設の適切な維持管理および新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に努めた。

② 県民および国内向けプログラムの運営推進

ア. 英語プログラム、英語研修等

JCMU が実施する各種英語講座のプログラム企画、受講促進のための広報啓発、関係機関との連絡調整、受講者からの相談対応等を行った。

また、県内高校の集中英語講座や長浜市教育委員会から受託した小学校外国語科教諭、中学校英語教諭を対象とした研修会の開催を支援した。

【講座、研修】

講座名	開講期間	受講者数 () 書きは近江八幡教室
英語プログラム	春 4/5-6/18	72 人(14)
	夏 6/28-9/17	70 人(15)
	秋 10/4-12/10	72 人(13)
	冬 1/10-3/11	72 人(13)
こども英語教室	4/5-3/11	65 人
国内留学プログラム	2/27-3/10	6 人
高校英語講座 (米原高校)	8/26,29,30,31	36 人
長浜市 NETS トレーニング研修 (小学校教員)	6/23,7/27,28,11/17	25 人
長浜市 NETS トレーニング研修 (中学校教員)	8/22,23	22 人
計		440 人

イ. 公開講座・交流会の開催

第 116 回 JCMU 公開講座 ジャマイカ独立 60 周年記念講座・交流会
「Jamaica Day in Shiga」

今年度はジャマイカ独立 60 周年を記念し、来賓にジャマイカ大使館特命全権大使 ショーナ・ケイ M リチャーズ閣下をはじめジャマイカに縁のある方々を幅広く招き、ジャマイカの芸術、文化、音楽に親しんでもらえるよう講座と交流会の 2 部開催とした。

開催日：7 月 17 日 (日)

会場：JCMU (彦根市)

参加者：80 人

内容：[講座 (演題・講師)]

・「Wi Likkle But Wi Tallawah」

シェルドン S ボーさん (ジャマイカ大使館一等書記官・領事)

- ・「Coffee Connection」
増田 隆教さん（小川珈琲株式会社 総合開発部 部長代理）
 - ・「Jamaica, My Endearing Love」
永村 夏美さん（NPO 法人 LINK UP JAJA 代表理事）
 - ・「Poetry in the traditional Jamaica dialect ‘Patois’」
ジャネス エリザベス ディッグス ホワイト ホリさん（JCMU 教官）
- [交流会]
民族舞踊、レゲエ、レゲエダンス、ジャマイカンアート

ウ. 地域国際交流事業等

- 第 32 回ミシガンカップ滋賀県高校生英語スピーチコンテスト開催支援
- 小学校への出前講座（ミシガン州、姉妹都市交流の紹介など）
 - ・ 6月 9日 彦根市立城北小学校 第3学年
 - ・ 7月 13日 長浜市立古保利小学校 第5、6学年

エ. 週末ホームステイの実施

金曜日夕方から日曜日までの週末に短期間のホームステイを実施。また、ホームステイの受入希望するホストファミリーの面談を随時行った。

実施日	参加留学生	受入ホストファミリー
11/18～20	9人	9家族 27人
1/13～15（延期開催）	1人	1家族 2人
3/10～12	7人	7家族 27人
合計	17人	17家族 56人

オ. JCMU 留学生と県民との交流の推進

県民と JCMU 留学生との交流により、地域の国際化や留学生の日本文化等の理解を推進した。

実施日	内容	県民	学生	会場	備考
11/18～20	週末ホームステイ	27人	9人	県内	[再掲]
1/13～15	週末ホームステイ	2人	1人	県内	[再掲]
実施日	内容	県民	学生	会場	備考
2/6	彦根市立稲枝西小学校訪問	19人	6人	市内	
2/16	ランゲージ エクスチェンジ	6人	4人	JCMU	
2/20	彦根市立城東小学校訪問	27人	2人	市内	
3/2	彦根市地域総合センター人権福祉 交流会館小学生英語教室交流会	9人	12人	市内	
3/10～12	週末ホームステイ	27人	7人	県内	[再掲]
計		117人	41人		

（参考）日本語・日本文化プログラム学生数

秋学期（9月～12月）	42人
春学期（1月～4月）	36人
計	78人

③ 大学をはじめとした教育機関との連絡調整

各教育機関のニーズに合わせて、英語教官を派遣し講義を行った。

【講師派遣】 3 大学、1 専門学校、3 高校

学校名等	派遣講師	学期等	受講生数
滋賀大学	1 人	春学期	214 人
滋賀大学	1 人	秋学期	216 人
滋賀県立大学	2 人	前期	84 人
滋賀県立大学	2 人	後期	48 人
滋賀県立大学	1 人	通年	130 人
聖泉大学（人間学部）	2 人	前期	48 人
聖泉大学（人間学部）	2 人	後期	53 人
県立看護専門学校（長浜）	1 人	通年	32 人
虎姫高校	1 人	通年	20 人
虎姫高校	2 人	7/14,8/24,25	61 人
彦根工業高校	1 人	全 11 回	32 人
光泉カトリック高校	1 人	3/28,29,30	6 人
		計	944 人

④ 広報、啓発活動の推進

JCMU ホームページや SNS を活用し、留学生の日本語・日本文化／社会プログラムや地域との国際交流活動および英語プログラムの広報を行った。

⑤ センター教職員、学生の生活アドバイス

施設利用者の安全を確保するため、留学生に防火対策、地震や火災時の対応などについてのオリエンテーションを開催するとともに、防災訓練を彦根消防署北分署の協力のもと実施した（9月、1月）。

(3) ミシガン州友好親善使節団の派遣

※新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、中止

(4) 姉妹友好州省等交流代表団の受入等 [委託]

① 駐日外交団受入

受入人員 15 人

受入期間 11 月 10 日（木）～11 日（金）

② 中国駐日特命全権大使受入

受入人員 7 人

受入期間 11 月 24 日（木）

3 国際協力促進事業

(1) JICA との連携による国際協力促進

独立行政法人国際協力機構 JICA 関西から駐在（1人）
JICA 国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信、相談業務等を行った。

(2) 国際交流・協カライブチャンネル [再掲]

10/1 第3回：ニカラグア編

(3) 身近な国際協力の促進

国際協力BOXを設置し、外国コインや使用済み切手、書き損じはがきなどを収集し、国際協力機関へ送付した。

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援

(1) しが外国人相談センターの設置 [補助]

① 相談窓口状況

- 相談件数：2,032件（前年度 2,205件、対前年度比 92.2%）
（うち、新型コロナウイルス感染症関連 相談件数 573件）
- 相談内容：入管 130件、雇用・労働 153件、社会保険・年金 212件、税金 93件、医療 488件、出産・子育て 45件、教育 89件、日本語学習 29件、防災・災害 0件、住宅 57件、身分関係 87件、交通・運転免許 51件、通訳・翻訳 50件、その他 548件

② 法律相談の実施（協定：滋賀弁護士会）

相談件数：21件

③ 在留資格出張相談会の開催（進路ガイダンス同時開催）

開催日：10月30日（日）

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが（近江八幡市）

相談対応：大阪出入国在留管理局職員

相談件数：4件

④ 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

ア. 研修会

[第1回研修会]

テーマ：「これからの世界を生きるための共生の知恵～コロナ、戦争、激動の世界で考える～」

講師：内藤 正典さん（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授、一橋大学名誉教授）

開催日：6月17日（金）

会 場：コラボしが 21（大津市）

参加者：44 人

[第 2 回研修会]

テーマ：「DV被害者と子どもへの相談対応のための知識習得」

（令和 4 年度女性相談実務担当者研修会への参加）

講 師：増井 香名子さん（日本福祉大学社会福祉学部 准教授）

開催日：1 月 10 日（火）

会 場：滋賀県庁（大津市）

参加者：21 人

[第 3 回研修会]

テーマ：「外国人への法的サービスに関する基礎知識」

講 師：清水 脩さん（滋賀弁護士会 外国人の権利委員会 弁護士）

開催日：3 月 3 日（金）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：17 人

イ. 連絡会議

開催日：3 月 3 日（金）

参加者：12 人

(2) 多言語による情報発信 [補助] [自主]

① 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行

発行回数：年 4 回（No.143～No.146）

発行部数：計 20,000 部／回

（内訳）日：3,100 部、英：2,100 部、ポ：4,200 部、ス：2,100 部、

ハ：1,200 部、中：2,000 部、台：1,100 部、タ：1,900 部

ベ：1,400 部、イ： 900 部

② ホームページおよび SNS による生活情報等の発信

県内に在住する外国人県民等が必要とする生活情報等を、ホームページの生活 Q & A をはじめとするツールを使用し、11 言語での情報提供を行った。

新型コロナウイルスに関する情報について、県と連携し、国や省庁、県等の公的な情報はじめ、県内最新の感染者状況等について多言語で発信した。

(3) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

① 外国にルーツを持つ児童生徒と保護者のための「進路ガイダンス」の開催

開催日：10 月 30 日（日） [自主]

会 場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが（近江八幡市）

参加者：42 人（8 か国 13 組）
〔 外国にルーツを持つ児童生徒 14 人 〕
〔 保護者 18 人、引率・見学者 10 人 〕

※在留資格出張相談会同時開催

② 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 Part14 [自主]

テーマ：「教科学習につながる授業づくりと在籍学級との連携」

講 師：浜田 麻里さん（京都教育大学教授）

開催日：8月26日（金）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

受講者：30人

※滋賀県教育委員会、外国人児童生徒教育担当者配置校連絡協議会連携研修

③ その他

- ・ 甲賀市教育委員会主催「進路ガイダンス」（10月16日）への進路資料提供
- ・ あすかアカデミア特待生枠3人 協力

（4）災害時の外国人県民等支援

① 「災害時における外国人県民等支援に関する協定書」にもとづく予防活動の実施

[大津市総合防災訓練]

開催日：9月24日（土）

会 場：大津市立田上小学校（大津市）

他の外国人対応訓練参加機関：

大津市観光振興課 MICE 推進室、（公財）大津市国際親善協会、大津市自主防災会、滋賀県国際課

内 容：外国人避難者の受付対応訓練、翻訳アプリ・ポケットク体験、多言語の受付シートの活用、多言語表示シート、やさしい日本語啓発資料等の配布、多言語表示非常持出袋の展示等

[滋賀県総合防災訓練防災展示コーナーへの出展]

開催日：10月16日（日）

会 場：旧長浜北高校跡地（長浜市）

出展協力：滋賀県国際課、（特活）長浜市民国際交流協会

内 容：災害時外国人支援に関するパネルや資料の展示、タブレットを使った翻訳アプリ（VoiceTra）の体験型デモンストレーション

* 展示、説明は SIA 災害時外国人サポーター登録者（（特活）長浜市民国際交流協会所属）ほか。

② 災害時外国人サポーター登録および研修

「災害時外国人サポーター養成講座～基礎編～」（共催：滋賀県）

テーマ：「佐賀の豪雨災害対応事例と災害時の外国人とのコミュニケーションについて」

講 師：矢富 明德さん（（公財）佐賀県国際交流協会）

開催日：9月4日（日）

会 場：キラリエ草津（草津市）

参加者：28人（行政職員、国際交流協会、日本語教室、外国人支援団体、企業、一般参加者等）

③ 多言語非常持出袋、防災多言語資料の普及啓発

県内警察署による外国人件見等向け安全教室への多言語防災資料提供

- ・ 提供件数および配布部数：26件 1,018部

・草津署管内安全教室視察

④ 消防職員対象 緊急時外国人対応に関する研修会への講師派遣等

[初任教育研修]

開催日：7月12日（火） 受講者：55人

[初級幹部研修]

開催日：12月1日（木） 受講者：16人

⑤ 近畿地域国際化協会連絡協議会 災害時外国人支援研究会への参加

近畿の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として広域連携の強化を図り、同研究会の研修会や訓練に参加、予防対策と発災後対応（応急対策）の両面での広域的な支援体制づくりを行った。

【総会】8/4（オンライン開催）

【研究会】4回（7/1、10/27、12/9、3/10）

【地域国際化協会連絡協議会課題研究会】

近畿ブロック委員として当協会職員が参画

【共催研修等への参加】 ※協会職員および災害時外国人サポーターが参加

- | | | | |
|--------|--|-----|--------------------|
| ・6/9 | 災害時緊急連絡訓練 | 参加者 | 4人 |
| ・6/25 | kokoka（京都市）防災訓練 | 参加者 | 4人
(うち、サポーター3人) |
| ・11/12 | 神戸市・CLAIR「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修訓練事業」現地集合型研修 | 参加者 | 1人 |
| ・12/9 | 相談担当者分科会（研究会併催） | 参加者 | 1人 |
| ・1/12 | 和歌山県災害時避難所巡回訓練（オンライン） | 参加者 | 3人 |
| ・1/19 | 和歌山県災害時多言語支援センター設置運営訓練（オンライン） | 参加者 | 3人 |
| ・1/26 | 大阪府水害における災害時多言語支援センター開設・運営を考える研修 | 参加者 | 1人 |
| ・3/8 | 京都府災害時多言語支援センター設置運営訓練 | 参加者 | 1人 |

⑥ 委員、アドバイス等

- 甲賀市多文化防災会議
※ 甲賀市・市協会間の災害時外国人支援協定締結にもとづく活動
- 滋賀県災害時ボランティアネットワーク会議／要配慮者支援ネットワーク（事務局：滋賀県社会福祉協議会）、災害支援市民ネットワークしが研究会参加
- ・ 災害情報・防災情報関連の多言語情報発信（Facebook）

(5) その他の外国人支援 [自主]

① 日本語教育の支援

ア. 日本語指導者養成講座（共催：びわこ日本語ネットワーク）

講師：澤田 幸子さん（合同会社あおぞら日本語サポート）

開催日：10月9日（日）、11月3日（水・祝）、13日（日）（全6回）

会 場：第1～4回 平野コミュニティセンター（大津市）
第5・6回 コミュニティセンターきたの（野洲市）
参加者：第1～4回 40人、第5・6回 24人

イ. びわこ日本語ネットワーク「第19回外国人による日本語スピーチ大会」への開催協力

開催日：3月5日（日）
会 場：長浜文化芸術会館（長浜市）
参加者：会場入場者 約140人
発表者：12人

■滋賀県国際協会会長賞：「苦しみは先に 喜びはあとから」
ワンディ エカ プリアントさん（インドネシア）

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室および外国人相談窓口情報の提供を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

日本語指導教材蔵書数：340冊
貸出数： 3件 6点
ブラジル教科書蔵書数： 51冊

④ 多言語情報の提供等

多文化共生学校づくり支援サイト、多言語防災情報〔再掲〕、外国語が通じる病院の情報提供、多言語子育て情報サイト、生活Q&A等で随時情報を提供した。

⑤ しがウクライナ避難民応援支援金の募集および避難民への支援

ア. しがウクライナ避難民応援支援金の募集

○受付期間：2022年3月22日（火）～5月31日（火）
（延長1） ～9月30日（金）
（延長2） ～2023年3月28日（火）
（延長3） ～2024年3月28日（木）※募集継続中

○募金収集方法：募金箱の設置

（滋賀県庁、ピアザ淡海、滋賀県立文化産業交流会館）
専用口座への振込み

○募金総額：16,616,095円（3月31日現在）

〔	内訳	法人	50件	10,919,945円
		個人	133件	4,032,367円
		募金箱		1,663,783円
〕				

○その他

イ. しがウクライナ避難民への支援について

○受入れ状況（2023年3月28日現在）
11組17名 ※県が把握している人数

○支援状況

当協会は、滋賀県と「しが外国籍住民支援ネットワーク」（事務局：多文化共生支援センター）との三者で避難民居住の地元自治体や関連団体、ウクライナ避難民の身元保証人の方々と連携、協力し、滋賀県に避難されてきたウクライナの方々への支援を実施した。

【支援内容】

日常生活のサポート、各種手続きの補助、生活支援金の支給、言葉のサポート、医療、就労・就学支援、日本語教育支援（子どもの日本語学習を含む）等

【支給実績】（3月31日現在）

生活支援金	5,500,000 円
住宅環境整備支援金	2,100,000 円
その他	24,600 円

※財源：「しがウクライナ避難民応援支援金」

（6）留学生への奨学金の支給 【自主】

○ 留学生 支給額：月額 20,000 円 支給人員：10 人（申請 16 人）

【びわこ奨学金授与式】

開催日：6月29日（水）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：奨学生9人 および 引率者（大学担当者）3人

2 多文化共生によるまちづくり

（1）多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 【自主】

① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：61件

② 委員、アドバイス等

- 長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員
- 公益社団法人滋賀県人権教育研究会理事
- ・ 滋賀県地域日本語教育推進事業（滋賀県）情報交換会参加・他事業協力
- ・ 滋賀県多文化共生推進プラン（第2次改訂版）評価検討会開催協力
- ・ 「帰国・外国人児童生徒教育指導連絡協議会」（主催：滋賀県教育委員会）への資料提供（11/26）
- ・ 滋賀県外国人材活躍支援会議への参加
- ・ 滋賀県介護職員人材育成事業（湖南地域）外国人介護職員養成研修広報協力
- ・ 定住外国人向け職業訓練コース広報協力（実施主体：滋賀県）
- ・ 定住外国人向け「しごとのための日本語」（厚生労働省委託事業）広報協力等
- ・ 敦賀海上保安部への広報啓発協力 お知らせ（多言語）「GW中『海の事故』にご注意を！！」

- ・ 朝日小学生新聞の日本語教育への活用プロジェクトに関する協力
- ・ 甲賀市日本語初期指導教室「かわせみ教室」他、外国人児童生徒への日本語教育についての協力
- ・ 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール催し 外国人県民等への広報協力等

③ 講師等（国際協会職員）派遣等

・ 6/3	立命館守山高校3年生受入（web）	面談者	1人
・ 6/10	（特活）まちづくりネット東近江訪問受入	来所者	5人
・ 7/25	立命館守山高校生訪問受入	来所者	1人
・ 8/9	全国市町村国際文化研修所令和4年度「外国人相談窓口の運営」2日目「事例紹介」	受講者	40人
・ 10/13	立命館大学情報理工学部村上ゼミ訪問受入	来所者	10人
・ 11/13	彦根市多文化共生サポーター研修会	参加者	19人
・ 11/28	聖泉大学看護学科訪問受入	来所者	1人
・ 12/19	膳所高校第2学年 探究活動	来所者	4人
・ 1/22	北野学区人権啓発推進協議会／北野小学校区青少年県民育成会合同研修会	参加者	48人
・ 1/27	大津市立日吉中学校第3学年人権学習「生き方講話」	参加者	35人

《 情報収集・提供による環境づくり 》

1 情報収集・提供事業

(1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年3回 121号（7月）、122号（11月）、123号（3月）
発行部数：2,500部／回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月1回
送信件数：426件／回

(3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

- ① 協会ホームページ 閲覧数：287,358（前年度 212,679）
月平均：23,946（前年度 17,723）
- ② SIA Facebook リーチ数：87,078（前年度 142,567）
記事投稿件数：510（前年度 1,625）

(4) 国際情報サロンによる情報提供 [補助] [自主]

- ① サロン展示事業および啓発展示
 - ・ ウクライナ避難民応援支援金活動の紹介
- ② 交流スペースの貸出 35回
- ③ 国際情報サロン図書等の貸出（日本語教材、国際教育教材を除く）

サロン図書の貸出 3件、10点
国旗の貸出（普通旗・卓上旗）
・貸出：7件、延べ24点（9か国・地域）

（5）関連機関・団体との連携・協働による事業実施 [再掲]

- ・ 法務省大阪出入国在留管理局（進路ガイダンス）
- ・ 県教育委員会、市教育委員会等（進路ガイダンス、外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座）
- ・ 県総合企画部国際課、感染症対策課（新型コロナウイルス相談窓口）
- ・ 県医療福祉推進課（外国人介護職員養成事業の実施協力等）
- ・ 県労働雇用政策課、テクノカレッジ米原（定住外国人向け職業訓練コース）
- ・ 日本国際協力センター（JICE）関西（外国人就労準備研修、しがウクライナ避難民支援）
- ・ 外国人材受入れサポートセンター（外国人の雇用等）
- ・ 滋賀弁護士会（法律相談）
- ・ JICA 関西（開発教育・国際教育研修の実施）

（6）海外渡航の支援 [自主]

① 渡航相談業務 3件

② 写真撮影（パスポート用写真の撮影）

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるパスポート申請者数激減のため、2020年4月27日(月)より撮影業務休止。

《 ボランティア、市民活動団体の活動促進 》

1 ボランティアの活動促進 [自主]

（1）S I Aボランティアの登録・紹介（3月31日現在）

国際交流支援	登録： 67人
ホームステイ・ホームビジット	登録： 76人、紹介：1件、2家庭
通訳・翻訳	登録： 126人、紹介：3件、3人
登録者数合計	延べ 269人（169人）

- ・ ボランティア オリエンテーション：随時
- ・ 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV-NET）運営委員
10/27 KIV-NET（関西国際交流ボランティアネットワーク）総会
（兼 運営委員会） オンライン出席

（2）災害時外国人サポーター登録制度（3月31日現在）

- ア. 登録者数：130人（15言語に対応）
- イ. 講座および研修への参加案内等
 - ・ 6/25 kokoka（京都市）防災訓練
英語、韓国語、やさしい日本語のサポーター3人が参加 [再掲]

(3) ボランティア情報の発信

メーリングリストによる情報提供：35 件

ボランティア相談対応：9 件

2 市民活動団体等活動促進事業 [自主]

(1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援

参加団体：68 団体（地域協会部会 16 団体、団体部会 52 団体）

① 全体会議・部会会議

開催日：7月15日（金）

会 場：ピアザ淡海

参加者：22 人

② 全体研修会

テーマ：「外国人留学生等による草津市消防団機能別消防団員の取組
～支えられる側から支える側へ～」

講 師：中西 まり子さん（草津市国際交流協会副会長）

間宮 啓太さん（草津市総合政策部危機管理課）

草津市消防団機能別消防団員

開催日：10月7日（金）

会 場：キラリエ草津（草津市）

参加者：40 人

③ 運営委員会

開催回数：2 回

開催日：5月11日（水）、3月14日（火）

④ Zoom 情報交換会

開催日・参加者数：

8月26日（金）14 人、11月29日（火）13 人、2月21日（火）12 人

(2) 市民活動団体等への支援

後援事業数 14 件

その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

(3) JICA 国際協力推進員との連携 [再掲]

JICA 国際協力推進員と連携し、国際教育事業の他、国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に情報発信や相談に対応した。

《 協会の基盤整備 》

1 会員および支援者の確保

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講座やワークショップ開催時など各種機会において入会の案内を行った。

あわせて、来所者や国際情報サロン利用者に対して協会実施の事業や趣旨、意義について説明をすることで、会員確保に向けての啓発を行った。

* 税額控除証明書を 2022 年 11 月 29 日に再取得。

(個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認定)

○寄附金：3 件、127,052 円

○会員数 個人会員：231 人 (前年度末：236 人)

団体会員：87 団体 (前年度末：89 団体)

計 318 会員 (前年度末：325 会員)

2 協会の BCP(事業継続計画)の検証

2021 年度に策定した BCP(事業継続計画)を確認するため、所内の発災後初動訓練を行った。

開催日：2 月 20 日 (月)